

隨想

キタノ カルチャーセンター

三浦 明定

（英語館・クイーンズコートオーナー）

子供の遊びとまで酷笑された異人館通りのショッピングモール造りは1976年に40坪のキングスコートから始まり、「風見鶏ブーム」も手伝って点、線、面に広がって行った。私の記憶が確かであれば当時、北野、山本地区にはタバコ屋、雑貨屋などの日常生活型の店舗が27軒であった。それから5年、今の異人館通りを中心として150店舗ものファッショントリートがごく僅かで周囲の商店それ自体が個性や美観を大切にして街の演出家となり、ユニークな観光地として繁栄している街が多く出現して来ている。特に地方都市はこのタイプであったのは今回の世界一周旅行で見聞した成果だった。しかしそれらの外国ではその商店経営者や地区住民は残り少ない観光

ひと頃、素人の集りの様に言われた商店経営者も最近ではプロのデベロッパー、東京からの有名

店の進出も確定しており、北野、山本地区の素晴らしい情緒空間は、これ等の投資家のターゲットとなり、埋めつくされて行くのも遠くない街の姿様だろう。勿論こんな傾向を心配している人も多くいる。しかし世界の多くの観光地は「幸か不幸か」旅人の目的の中に「買物」と言う行為が大きくウエートを占めていて物をハントするのも旅を楽しく過す一つの要素らしい。時には観光資源そのものがごく僅かで周囲の商店それ自体が個性や美観を大切にして街の演出家となり、ユニークな観光地として繁栄している街が多く出現して来ている。特に地方都市はこのタイプであったのは今回の世界一周旅行で見聞した成果だった。しかしそれらの外国ではその商店経営者や地区住民は残り少ない観光



カット／滑川 秀和

資源を懸命に保存し、掘り起し、再生利用することに手を貸す事を惜しんでいない。必要とあれば人材や金銭まで供出し、地区資源（観光）いや社会資本の充実を自ら計り、行政だけに頼る事なく努力しているのに感動した。

この北野、山本地区も景観条例や伝建地区として指定されたのだから、せめて、昔隣り近所で自分の家の前に打水をしたあの生活心情を思い出し実行したい。そして又欧米の観光地ではどんな小都市でも「文化の香り」と言うよりも大小の文化的な催しが絶えずあって、有、無償のイベントに出くわし、その街の文化に接し、より、一層忘がたい極めて印象深い旅にしてくれる。もうそろそろこの街にも文化が香つても良さそうである。市立の南蛮美術館がトーマス邸などの異人館に移転されたらどれ程、神戸らしいだろう。そして絵画、彫刻、音楽などの芸術を



北野国際まつりの仕掛け人
左からJ.グラックさん、佐藤宮司、三浦さん

先兵に新しい「キタノカルチャーノ」の生れる事を私は夢見たい。

私共の英國館でも不定期だが、音楽会などの実験を試みている。

この夏諸外国人に北野町の天満宮の夏祭りに参加を呼びかけ、宮司の理解もあって「北野国際祭り」の草案とプロデュースをして見たら、なんと13カ国、230人の外国の方々と日本の皆さんとの参加で、バザー40店や奉納ダンス、音楽、絵馬、お茶、生け花、ゲーム、盆踊り、ディスコ等々催し物のあつた二日間の祭りを諸氏の無料奉仕の参加で無事終えた。

汗を拭きながら見物に来る異人館は確かに個人の所有物であるが、もはやそれは市民の大切な資源の一つ、素通り観光の街から、一向に衰えない観光地と変貌し、年毎に定着化して来て、今年は特に博覧会の大成功も手伝って、北野町は人、人の波、騒る事なく、喰い飽す事なく、必要なら新しく作り、演出をして、21世紀に向っての遺産を残せる街となつて欲しい。8月1日より「北野、山本地区を守り育てる会」が住民主体で出来た。住民が直間接的に参加、コミット出来る場がある事は大変嬉しいことである。それにしても近頃小路にまでも露天商が出てどこかの観光地と変らなくなつて来たのも赤信号のきざしかも……?

夢を追いかけて

竹内 智子

△家事手伝い▽



むかしむかし、あるところに：幼い頃の、耳に馴染んだやさしい語り口。甘いミルクの味にも似た想い出を、心の隅っこからする

すると引き出してくれる魔法の言葉が、私は今でも大好きです。

でも、その「好き」が絵本を書くきっかけになるなんて、誰が予想したでしよう。

一年前、父のお友達が出版のお仕事を手がけられ、絵本や民話、民芸品好きな私に、絵本を作る機会を突然下さったのです。詩や文章を書いたことはあっても、児童文学や人文地理とは殆んど縁がなかつた私にとっては、生まれて始めての経験でした。

しかし、とにかく無我夢中でまためた「京都のむかし話」が、小さなお土産として意外にも好評だったお陰で、今度は東京の蝸牛社から原稿依頼が来ました。舞台は兵庫です。「神戸生まれの神戸育ち、地元のことなら任せておいて！」と思ったのは大間違い。たいいのことなら知っているつもり

だったのに調べてみれば「ヘエー」と驚くことばかり、改めてふるさとの懐の深さを実感したのです。

この感動を伝えたい、そんな気持で選んだ、言わば私なりの兵庫のエッセンスは、全部で二十八編。古い歴史と豊かな風土に育くまれて、ロマンティックな恋物語や戦記物、笑い話、怪談、神話等々、バラエティーに富んでいます。

これらのお話で白いマス目を埋めていると、何年先のことかわからないけれど、いつか私もお嫁に行つて「お母さん」と呼ばれるようになつたら、話してあげたいな」と、楽しい想像が胸一杯に広がりました。

それだけではありません。夢に夢を重ねて「ファッション都市・神戸」「異人館のある街・神戸」「ポートピア81の神戸」を見に来て下さるお客様にも「こんなに床しない神戸」も知つてもらえるといなアとまで思つてしましました。それでは、そんなに沢山の思いを込めた肝心のお話の出来具合はどうでしょうか？キチンと活字になつて居下さいを正している文を冷静に読み直してみると、やはり「まだ、どうも：舌足らずみたいで：今頃になつて、書くことのむずかしさ、怖さが、じわじわと押し寄せて来る気がします。オリジナルとは違い、誰にでもできる

ライトだけに、その恐ろしさは二倍かもしません。

でも、こんな世界に迷い込んだのも何かの縁。この反省を足掛かりに、できればもう一步、進んでみたい、もう少しだけ良いものを書きたい、なんてまたまた次の資料を集めを始めました。本箱の中で、いかにも肩身の狭そうな赤い背表紙を横目で見ながら……

★繪本・兵庫のむかし話 蝶牛社発行
1,300円 A5判

紳士諸君! 勇気をもつて タキシードを

田中 謙司

（服飾デザイナー）

「タキシード・パーティ？」

「そんなん、タキシード着てホテルへ行つたらボーアイさんと間違われるやないか」

ぼくたちが神戸でタキシードパーティをやろうやないかと、紳士服仲間が集まり、スチーベル・ソフレの会にお客様をお説いすると必ず最初にこの言葉が返つてきた

タキシードを着るだけで、ぱっとひきしまった感じになつて、男の緊張感がみなぎる。

いいんだな。このキリッとしたメンズモードの醍醐味を、どうしてみんなは邪魔くさがり、メンドくさがって味あわないのでだろう

大阪では、早くからタキシードパーティが開かれていた。タキシードを作つて着ても行くところがない。ファッショント都市神戸が泣くそこで第1回のスチーベル・ソワレは、2年前の昭和54年10月に、

北野クラブで開かれた。

同志は、飯島雄雄（紳士服飯島）

上田貞雄（テーラーウエダ）横川美佐

男（テーラー横川）横山忠世（テーラー

横山）大和田幸次郎（テーラー大和田）

樹田晃司（テーラーマスダ）中島正義

（テーラー中島）そしてぼくというメンバード。一年がかりの準備のせいか、湯井一葉さんのシャンソンショー、ぼくたちのタキシードショーや、ダンスマイルなどの内容で150人が集まる大盛況ぶりに、大いに気をよくしたのだ。まだその頃は、オーソドックス・スーツの人も多かつた。第2回は昨年12月、神戸外国俱楽部で開いたが、クリスマスと忘年会シーズンが重つたので出席者は100人弱。でもタキシードの主旨は浸透して全体に多くなり、すてきなタキシード姿の紳士達を、パートナーと共にス

タージで紹介した。いよいよ今年は第3回。オリエンタルホテルで、10月16日に開催する。ぼくたちも販売促進をかねているのだから、タキシードを注文の方はご招待する。固苦しい純粋のフォーマルよりファッショングの性のあるデザインジャケットをデザインして着てほしい。

タージで紹介した。

今日はオリエンタルホテルとの共催から250人～300人は集まつてほしいので目下、大わらわである。で

きれば年に何回か開いて、第3日曜は、オリエンタルホテルのワン

フロアを開いて、タキシードで集

まり、一杯飲みたし、婦人服の人々にも協力していただいて、ロン

グドレスのレディと共におしゃれ

で粋なパーティに成長させたい。

というぼく達といえば、世話役

グドレスのレディと共におしゃれ

で粋なパーティに成長させたい。

というぼく達といえば、世話役

なものだから、こうやつたらどう

だろうとか、あ～やればとてんて

こ舞いで実際楽しむところまでは

行っていないというのが実状だ。

でも、ご夫婦お揃いでタキシードにロングの方々が多いので、何

より嬉しい。まだまだぼくたちの

やっていることは微力でスプレー

一杯のことぐらいしか出来ていな

いが神戸中の人が参加してほしい。

そして、紳士諸君よ。勇気を持つタキシードを着よう！……と。

★スチーベル・ソフレのつどい10月16日（金）

7PM～10PMオリエンタルホテル2F

会費／13,000円（詳しく述べ事務局
078（361-1）4390

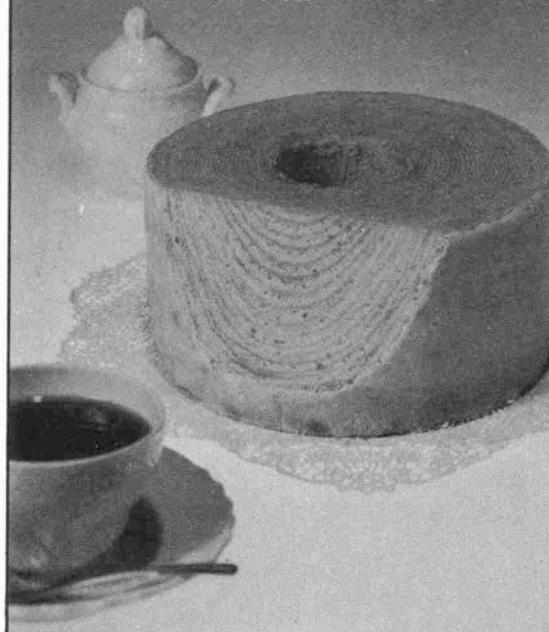


外国俱楽部で開かれた

第2回タキシードパーティのタベで

大きく育った 味の年輪

しあわせの年輪が
大きく育ちますように



バウムクーヘン ¥700～¥3,000

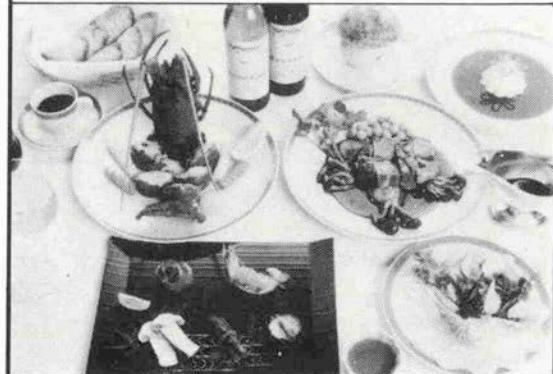
北欧の銘菓 ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市中央区熊内町1の8 (市立美術館東隣) ☎221-1164
■さんちか店・神戸デパート・神戸大丸・そごう・阪急デパート・元町店・六甲道店
■須磨パティオ店

和風フランス料理

秋味一席

10月1日～11月8日



●メニュー

和風オードブル

トリュフスープエリゼー風

伊勢海老の共殻焼き

または

神戸肉ステーキの松葉焼き

サラダ

ブランマンジエ・ランソワーズ

アーモンドティュル

コーヒー

お一人様10,000円(税・サ込)

ファッショ・バッグ プレゼント付

ご来館の際はあらかじめお電話でご予約
くださいますようお願いいたします。

時間 神戸 / 12:00～14:00 17:00～22:00

六甲 / 12:00～14:30 17:00～21:30

神戸オリエンタルホテル

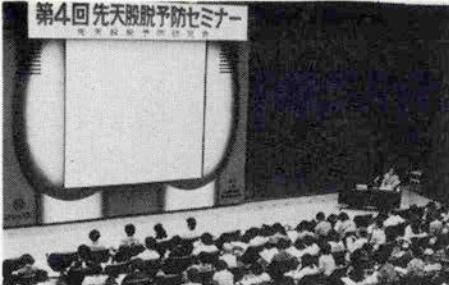
〒650 神戸市中央区京町25 ☎(078)331-8111

六甲オリエンタルホテル

〒657-01 神戸市灘区六甲山町 ☎(078)891-0333

神戸おむつを考える会

荻原 一輝（荻原整形外科病院院長・先天性股脱予防研究会会長・）



7月4日に催された第4回先天性股脱予防セミナー

もう六年も前になる。当時生田保健所の婦長だった梅村さん等がおむつとおむつカバーと教材用の人形を持って、突然に私の診療所に入ってきた。これがこの会の始まりであった。

問題は先天性股関節脱臼（生まれつき股の関節がはずれている病気で、びっこになつたり痛みがでたりする。日本はこの病気の多発国といわれている）の予防におむつやおむつカバーが関係するのではないか？そしてこのために股オムツを使うとよいといわれる

が、これを使うと便やオシッコが洩れて困る。何とかその対策はないか？というのである。

友人や知人を頼り、とに角このような問題を解決するために相談しようという会がつくれたのが本会である。メンバーは多士彩々

この写真に県立こども病院整形外科医長香川先生のハリキリボイの姿がないのが淋しい。（只今学会のため旅行中）。往年の梅村婦長、今は神戸市を退職されて尚健在、現職の保健婦さん、看護婦さんの顔がある。そしておむつカバーのメーカーの方々、乳児用品のリース会社も加わっている。総勢二十五名が現状である。省みるとこの六年間、まずよく勉強した。医療関係者は視野が狭いとよくいわれるが、その言葉の意味がよくわかつたし、それそれに他の業界のことをよく勉強した。

つまり「洩れない。むれない」そして私共の目的である「赤ちゃんの下肢がよく動く」おむつやおむつカバーをつくるために、毎月

これは単に、机上の勉強だけでなくお互いの日常の仕事の中で赤ちゃんに接し試用が繰り返された。一方ではメーカーに接觸して新製品の開発を求めて、デパートに出かけてお母さんに話しかけ、新聞に接觸し、市内の保健婦、看護婦にも講習会を開催してきた。

たまたま全国各地で同じような試みの下に先天性股脱予防への歩みがすんでいた。（しかし多くの保健所中心、病院中心である）この人達と一緒にになって、大きく全国を対象に先天性股脱予防セミナーが毎年行われている。名古屋、東京、大阪に続き本年はボトビア⁸の年でもあり、神戸国際会議場で開かれた。この原動力は、この「おむつを考える会」である。

いまや全国のおむつカバーメーカーが神戸に寄つたり連絡をしてくれるまでに成長している。さらに赤ちゃんの足を守るためにベビーアイ服のメーカーにも接觸を開始し、新製品の市販が始まつた。しかし先天性股脱の予防の仕事はまだまだある。市内でもまだ三角おむつをしている赤ちゃんが残っている。

私共はこの歩みを止めることができない。

■ 神戸おむつを考える会（〒650 神戸市中央区北長狭通5-13-5 荻原整形外科病院内
☎ 078-351-5751

連載エツセイ

折々の神戸〈VI〉

愚樂亭訪問記

多田智滿子(詩人)
絵/石阪春生



氏が姿を現した。

端然と膝に手をおいて正座した姿は、ジエイ・グラック氏というよりも、(表札に記された通り)愚樂自栄氏と呼ぶにふさわしいが、それもそのはず、氏は裏千家の家元と親しく、茶道の心に深く通じておられるらしいのである。

なぜ特にペルシア美術に魅せられたのか、それが私のいちばん知りたいことだったが、私の間に對して、ペルシアは美しいから、という答が返ってきた。私は重ねてきいた。

——美しいといつても、古代中国の美術も美しいし、ギリシア彫刻などは誰が見ても美しいでしょう。なぜ特にペルシアなのですか？

——ペルシアは自然なんです。心があります。ヒューメインです。(ヒューメイン一人情味があるとでも訳そうか)ギリシアのはロボットみたい。実物そっくり。写真みたいです。

ギリシア美術をロボットとは。私は笑いかけた
ラスター彩鳳首水注グルガン十三世紀
とある。cocksheadを鳳首と訳すあたり、なかなかのもの、と感心して眺めるうちに、グラック

が、同時になるほどと思った。視覚的な理想美を追求して人体各部の比率をきめたり、黄金分割を考えたりしたギリシア人の感性はたしかにあまりに機械的といえるかもしれない。

——ギリシアのやり方をおしすすめると、当然、機械文明になります。ペルシアはもつとヒューメインです。

ここでグラック氏は押入れの中から、馬をデザインした古い角型に近い大盃を二個もち出してきた。一つはきわめて写実的に馬の頭部を模した陶器で、これは紀元前四世紀のギリシアのもの。もう一つは馬の前半身を盃の形にした素焼の土器で、時代は聞きもらしたが多分紀元前十世紀頃のものであろう。これは写実的でなく素朴に抽象化されているが、氏によるところの方がずっと「馬の感じがよく出ている。ギリシアのは馬の写真みたい」で心が不在である由。

その素焼の馬の胸さきに小さな孔があいているのは、この小さい呑み口から吸うと、ぶどうの皮などのカスが濾せて液体だけが口に入るのだそうだ。したがってこの盃は当然、濾し器が発明される以前の古い時代のものにちがいない。

その素焼の大盃を手でなでまわし、私にも渡してさわらせながら氏は語った。器というものは手でさわって楽しむものです。わたしはそのことを茶道をやってはじめて知りました、と。

ちょうどその少し前、奥様のスミ夫人が運んできて下さった冷茶のコップはとても美しいものでその上まるいでこぼこの具合がじつにさわり心地がよく、私はしきりにそのコップを愛撫していたところだったから、「器は手でさわって楽しむも

の」ということばが素直に納得できた。その味わい深いコップは氏の友人のペルシアのガラス細工師の手造りで、正倉院の瑠璃ガラスの色調を模したものという。

——手造りです。マスプロだめ。日本の会社が何百ダースも注文しても、この人ことわります。同じもの沢山造るのは退屈ですから。

ペルシアの古い焼き物のなかでもいちばん好きなのは、紀元前八〇一世紀頃の素焼の土器だそうだ。そういうばこの広間のいちばんいい場所、つまり床の間に数点飾られてあるのがそれらお気に入りの素焼の鉢や水差し類である。

色物——つまり釉薬のかかった陶器も、古さびてじつにいい色になつてているのがあつた。長年土に埋っていたために青釉に化学変化を生じ、銀化しているのだそうである。グラック氏はハンカチをコップの茶でぬらして、青釉の壺を拭つてみせた。白っぽくなつた青緑の表面が、濡れるとなつやかなトルコブルーになつた。ああ美しい、と私がつぶやくと、これがもとの色、と氏は満足そうであった。

スミ夫人は夏用のおうす茶碗のような形の青釉の小鉢をもつてきて、私に匂いをかかせた。

——土の匂いですよ。長い年月土に埋つていたから。

——匂いがするからお茶に使えない。とグラック氏。匂いをとるには長時間水で煮るのだそうだけれども、幾世紀もかけてしみこんだペルシアの土の匂いは、グラック氏にとってむしろいとおしいものであろう、と思われた。

正直な話

△漫画家△
高橋 孟

私のほんの一部分の体験談「海軍めしたき物語」が馬鹿当たりをして、版元の新潮社も驚いたそうだが、それより驚いたのは著者本人だった。



●「海軍めしたき総決算」は「海軍めしたき物語」の後編として発売中。ベストセラーをつづけている。△新潮社編△

私もその「面白半分」の編集長を引受けられたときだった。ある神戸のスタンドで、私が、酒の肴に海軍の昔話をしていたときからはじまるのである。海軍といっても、私の場合は主計科（めしたき兵）だったので、飛行科や、兵科のような勇ましい話が出来るわけもない。『熟年』の誰れしもが話す戦争ばなしのだが、その中で私の唯一の取つて置きの箇所は、フカに咬まれた dariだつた。数多い戦争体験者の中でもフカに咬まれて生残つた者は数少ない筈だ、と思っていたからである。私は右脚を咬まれたのだが、海軍からの公報は「南支那海ニ於テ敵潜水艦ト交戦中右大腿部重傷」となっている。何處にもフカに咬まれたとは書いていないから、勇ましい話にするなら、魚雷が足にあたつたと言つたらオーバー過ぎるが、せめて、「魚雷の破片が当つて一瞬にして太腿の肉が無くなつていたんだ」と、嘘をついても話は出来上るというものである。正直言つて、終戦直後の私は、フカに咬まれた話は意識的にしなかつた。出来るだけ公報に合わせていたのを思い出すのである。それを、聞いていた人は、きっと、「魚雷の破片のあるほどの近くにいた者が生き残れる筈がないぜ…」と疑いの目で私の顔を見ていたに違いない。とかく、戦争の昔ばなしは、著者本人がそうであったように、美化され勝ちになる。

そこに、目撃者がいるわけもなく、ちょっと修正すれば少しはカッコくなるからである。ところが、この“ちょっと”が眞実を根本的に崩してしまふのである。とは言つても、眞実を伝えるのは難しい、果して私の右脚の肉を取つていつたのがフカであつたかどうかを問わると返事に困る。私は、暗闇の海で、確かにフカの顔を見たのではないからだ。読者のお手紙に「それは海ヘビではないでしようか」とか「フカのヒレで肉を削がれたのではないか」と、色々教えていただきたりしている。いずれにしても、酒友のカモカのおつちやんが冗談にいう「鯖が咬んだ」のではない筈である。私は、その時「フカだー！」と叫んだのは事実である。

前著「海軍めしたき物語」に引続いて今度、続編ともいうべき「海軍めしたき総決算」を恥ずかしながら…出させてもらったのだが、これも、何かも正直にお話したつもりである。全国の読者から思いもよらぬ沢山のお手紙を戴いて感激すると共に、その内容の正直で、温かいことに感動を覚えるのである。前著の下級兵当時の事に關しては、ある主計少佐（当時では雲上人）からのお便りに、「小生が経理学校生徒時代の軍事学と陸戦の教官（当時少佐）であった少将から電話があり△海軍めしたき物語という本を読んだか△といわれるるので、

△読みました、私も分隊士や主計長をやり部下の事は知つてゐるつもりでいましたが、あの本を読んで、何も知らなかつた事が判り主計兵達に申訳ない気がします△と申し上げたら△その通りだ△といつておられました」

と、あつた。勿論、私の上官ではないのだが、海軍組織の上層部（特に生徒出身者）が下層の事を知らなかつた事に一瞬驚いたのだが、戦後三十年も過ぎた今、謝意を含めたそのお手紙が心嬉しい、その後も文通を願つてゐるのである。ある意味では、職業軍人も体制内の犠牲者だったと思うこの頃である。

正直に書かれたお手紙には涙するものがある。ある兵科の下士官の方は、

「私の弟も海軍に憧れて入団しました、十八志です。防府の通信学校に在学中、一度面会に行きました（此の志願には反対したのですが本人は引き入れませんでした）ところ、私の顔を見るなり男泣きをして“兄貴、海軍などくるのではなかつた兄貴の反対した氣持が今解かる！”と申しました。当時の私が弟にいえる言葉は、軍服を着てから、そんな泣言をいつても何もならぬ、今は練習教程を努力してやれ、と、いう事でした。その弟も此島で戦死、十九歳であります」（各々原文のまま）

この、弟さんの戦死の情況はわからないが、生きて帰られた兄さんの、今の氣持が痛い程わかるのである。あの当時の海軍志願兵募集のポスターには凜々しい少年兵が軍艦旗を背に手旗をかざしている絵が描かれていた。が、入団したら夢が破れるのに三日もかからなかつたのが私達だった。

又、小学生からもらった葉書に、

「戦争はカッコイイものと思つていましたが、こんな色々な仕事をしている人もいたのですね。旧兵のシゴキにびっくりしました」と、たどたどしい字に実感が籠つていた。

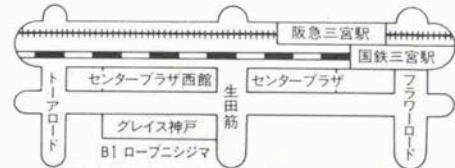


普段着は、
クリーニング屋さんへ。
おしゃれ着は、
ローブニシジマへ。



■サービス内容■

- 型くずれの防止
- 素材感の回復
- お客様のお好みに合せた仕上
- カルテの作成
- ファッション、クリーニングの最新情報の提供



神戸市中央区三宮町2丁目11 グレイス神戸B1

お電話で一度お話しください
Phone.(078)332-2440

イヌが家畜の島

石森 秀三 △国立民族学博物館助手

ミクロネシア・カラリン諸島のほぼ中央に、サタワル島という、サンゴ礁の島がある。周囲六キロメートル、人口五〇〇人という、小さな島である。

この島にいくには、数カ月に一度、生活必需品をはこぶ、オンボロ貨物船に便乗し甲板で最低一〇泊する覚悟が必要となる。その意味で、まさに絶海の孤島といえる。

わたしは、この島で約一年間にわたって、伝統文化の民族学的調査をおこなった。島の男たちと同じように、フンドシ一本になつて島の文化を理解しようと試みた。島で少しくらしてみると、日々の生活のなかで、「男の世界」と「女の世界」が明確にわけられて

いることに気がつく。すくなくとも、昼間は男と女がいっしょにいることはまれである。男は漁撈やカヌーづくりなどをやり、女は料理や育児に専念する。

島の男たちの最大の楽しみは、ヤシ酒をくみかわすことである。午前中、仕事をおこなつたのち、午後から夜にかけて、酒盛りがつづく。そんなある日、わたしも酒盛りの仲間入りをした。そのとき一人の男が、こんがり焼きあがつた肉のかたまりをもつてきた。わたしにも一口たべるというので、ナイフできつてもらつてほおばつた。資源にとぼしい島なので、肉をたべるのは久しぶりのことである。とてもおいしい。しかし、ブタ肉にしてはあつさりすぎているので、問いただすといふのない呕吐感におそれた。遠慮せずにもんに、なんともいいようのない嘔吐感におそれた。遠慮せずにもつとたべるといわれたが、丁重にことわるはかなかつた。



こんがり焼きあがれたイヌ（筆者撮影）

太平洋の島々では、イヌがブタやニワトリとともに、貴重な家畜であることは常識である。現代のめぐまれた日本人にとって、イヌは愛玩の対象とはなりえても、食欲をみたす対象とはなりがたい。

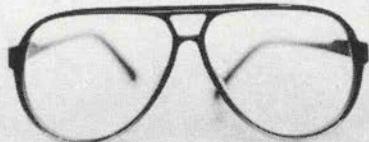
しかしだからといって、イヌをたべる人たちを一方的に野蛮とみなすのは、まちがいである。それぞれの民族なり社会には、それぞれ独自の文化（価値体系）がある。イヌをたべない文化もあれば、イヌをたべる文化もある。自分がイヌをたべないからといって、イヌをたべる人たちを非難するのは、この地球上にただ一つの文化の存在しか認めないのにひとしい。世界には多数の民族があり、それが多様な文化をはぐくんでいる。

しかし一方、人間は悲しい存在であり、一度身についた文化を容易に消し去ることができない。イヌをたべない文化を身についた、わたしは、それがイヌの肉だとわかつてからたべ続けることができなかつた。けれどもイヌをたべる人たちを非難したことは一度もなかつた。資源に乏しい島にくらしてみると、イヌが貴重なタンパク源であることが容易に理解できるからである。サタワル島のイヌによって、異なる文化を理解すること、難かしさと大きさを教えられたわけである。

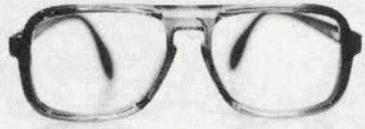
秋を演出するフレーム。



Polo



Simple Life



silhouette

セル フレーム

落ちついたなかにもスポーティでカジュアルな感覚があ
ふれる、さわやかな落ちつきを印象づけるフレームです

 神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎ (321) 1212 代表

三宮店・さんちかタウン ☎ (391) 1874 ~ 5

元町店は毎水曜日がお休みです

三宮店は第2、3水曜日がお休みです

陶芸



古川軒

ニューセンタービル
(三宮センター街1丁目)

電話 (078) 331-2813



●営業時間 10:30AM ~ 7:00PM

●第2・第3水曜日定休日

経済ポケット ジャーナル

★ 神戸沖新国際空港誘致
へ力強くダッショ
神戸沖に新国際空港を一
社団法人神戸青年会議所
(J.C.)は、十数年来、一貫して神戸沖への国際空港誘致の声を上げつづけて来たが、このほど、「海から空へ—神戸と新国際空港」を同J.C.の編集で刊行した。

「海から空へ」表紙



同書は、なぜ神戸に国際空港が必要なのか、を一般市民向けに分かりやすく編集したもので、単なる空港の解説書とは性格を異にする。全体は10章に分かれ、神戸の歴史、神戸の現状、神戸の将来が平易な文章で綴られ、一読すれば、神戸のすべてが分るという格好の

手引であると同時に、空港誘致を熱っぽく説く各界各層の生の声、座談会、さらには世界の都市と空港、航空機の発達などが満載され、最後は神戸J.C.の神戸沖案で締めくくる。空港に関心のあるなしに関わらず一読の価値があるといえる。

四六判二五六頁千円。

★ 森本倉庫が新たに建設

三宮国際ビルディング
三宮駅前に三宮ビル北館

南館、西館東館とターミナルの建設を続け、都市づくりに積極的な姿勢の森本倉

★ 三宮での買物は
クレジットカードで



三宮国際ビル、所在地：中央区
浜辺通2丁目専用電話（233-1）
5931



森本倉庫ビル事業部ではこの界隈を新しいビジネスタウンとして再開発する計画で、同ビルの建設はその第一弾。

貸ビル経営には実績のある同社だけに早くも在神の各企業から問い合わせが相ついでいる。

三宮の商店の若手経営者たちで組織している「たけのこ会」（植村孝一理事長）が計画で、同ビルの建設はその第一弾。

貸ビル経営には実績のある同社だけに早くも在神の各企業から問い合わせが相ついでいる。

貸ビル経営には実績のある同社だけに早くも在神の各企業から問い合わせが相ついでいる。



★ K O B E オ フ ィ ス レ デ ィ

藤城光代さん（22）
△株式会社バール企画部▽
ジュニア対象のブランド
「ボベー」のデザインを担当。
当少しだけ前までは仕事が楽しかったが、今はどちらか



という「しんどい」先のことは全然見えないが多分将来もこの仕事を続けるだろう、と呴く。暇な時はロックに旅行にと一時もじつとしていない活動的な女性。「必殺遊び人みたいに書かないで」と釘をさされ

日本は世界の期待に応えなければならぬ

八月二十四日から三日間、ポートアイランの国際交流会館で、「地球コミュニケーション会議'81」が開かれた。今回が第一回だがテーマは「アジアの企業家と国際協力」。R・S・マクナマラ前世界銀行総裁の基調講演「地球開発と資金動員」で会議は始まり、連日熱心な討論が行われた。小誌では、これを機会に会議での報告者にお集りいただき、日本あるいは神戸に対する忌憚のないところを伺った。

デレク・デービス（香港＝イギリス） R・G・ジャクソン（オーストラリア） リム・キー・ミン（シンガポール） ケンブリッジ大学にて修士号を取得。クイーンズランド大学卒業。七八年英駐オーストリア大使館などに勤務。連邦対日諮問委員会議長、七九年アジア銀行頭取。現在は、ファーリースタン・エコノミア経営研究所理事となり、現在、ティッドオーバーシーズ・バンク取締役および中華總商公会長。50歳。

・ホールディング（株）会長。57歳。

役および中華總商公会長。54歳。

ニアム・トン・ダウ（シンガポール） マラヤ大学、ハーバード大学にて修士号取得。現在、シンガポール経済開発庁（EDB）長官。シンガポール港湾府のメンバー。54歳。

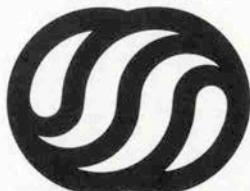
スジョン・ホマルダ（インドネシア） デービッド・シッブ（フィリピン） スラ・サニタント（タイ） ラド・サニタント（タイ） ワイ・スコンシン大学にて修士・博士号陸軍幹部学校を卒業後アメリカにおいて経済学を学ぶ。陸軍少将として軍隊を退役。現在、国際戦略研究所名譽所長。銀行頭取、ASEAN・日本経済協力銀行頭取、A・S・E・A・N・日本経済協力会議の会長。62歳。

メトロボリタン銀行東京駐在員。42歳。



地球コミュニケーション会議 '81
Global Community Forum

アジアの企業家と国際協力



日本は世界に門戸を開くべきだ
サニタント 日本は、アジアの中では政治的、経済的、文化的な面において非常に重要な国です。過去において

貿易と投資の面でタイの一番重要なパートナーでした。しかし、アジアの国々が日本の経済面に対して、いつ日本側が利益を多くとっていると感じているのは否定

できません。私は、日本はアジアに充分寄与していると感じています。しかし、我々の原料、市場なしには、このような急激な発展はできなかつたでしょう。それにアジアの多くの人々、政府、民間、学生などは、経済面において、過大な利益を日本は得ていると感じています。一九五〇年代は、日本もアジアの発展途上国も一緒でした。それは理解できます。しかし現在では、日本は経済大国です。いろいろな期待がよせられるのは、自然なことだし、日本が援助すべきだということは正当化できます。援助というのは、何も事務的に、公的な貸付けをすることには限りません。最も重要なことはアジアの国々に対して、日本がもっと市場を開拓すべきだと思います。今の日本の世界での経済的位置から考えると、市場をもう少しオープンにする必要があると思います。次にアジアの国々の工業化に対して、投資をもつとすることによって、援助することです。

現在、日本はアメリカ、ヨーロッパに多額の投資をしていますが、アジアの国々の発展、ひいては日本の利益のためにアジアに投資をすべきだと思います。投資によるアジアの産業化、工業化が大事だと思われます。問題は以上のべましたが、それに加えて、多方面にわたる技術の指導が充分でないと思います。訓練、または、そのための特別の学校をつくること。以上のことを日本に期待します。今までは、日本とアジアの国々の経済的なギヤップは広がるばかりです。日本の経済的繁栄を考えるとき、他の国とのギヤップをうめる義務が日本にあると思います。

シシップ 日本の政府も私の国(政府)もいろいろな形で相互関係に影響をおよぼすことができます。例えば海外投資をさかんにするよう指示、またはその逆をすることができる。だからといって、これがすぐに両国の友好関係に結びつくものではありません。

また私は日本の企業は自分流のやり方でしかやってくれないという不満の声もよく聞きます。人間はもちろん

頑固ですから、どこの国であろうとヨーロッパの人であらうと同じであります。しかし共同(合弁)の会社である限りそれなりの配慮がなされねばなりません。一般的にいって問題点といえることは、日本のパートナーは経営の面に多くたずさわらうとします。それはよいとして、日本から重役達は多くの場合、日本側の利益のみを心配しているにすぎない。少しも共同の利益を考えようとはしない。そして何か問題が起つて決定を下す時は東京や大阪ばかりと連絡している。これは大きな問題です。共同の企業である場合は、あくまでもお互いの関係を第一とし、その利益のために協力し合うのが大事であると思います。

将来のプロジェクトですが、大きなスケールのものとしてはASEAN中心のアジア全体の市場に關係のある大きなプランです。この方面に非常に有望な日本との共同の企業のプランがあります。小さなプロジェクトとしては日本の企業をアジアの開発途上国に移しかえること

一途上国の有利な条件を利用することです。もし日本の企業をフィリピンに移して同じものをつくるうとすればコストは安くなる。自然に市場も今まで通り確保できるわけです。ここで合弁企業の可能性が出てきます。OECD(経済協力開発機構)もこの可能性に注目しています。中・小のスケールでのプランを多く考えています。

ミン シンガポールには現在、約一、四〇〇人の日本人がいます。その意味からも日本とはビジネス的に、また、社会的、教育的にもすでに親密な関係ができております。日本政府はシンガポール政府に対して日本—シンガポール貿易センター、またコンピュータ訓練センターなどの設立を援助しております。貿易と技術の両面で援助がおこなわれていますね。

ダウ アジアの国々のなかには、日本の経済進出に対し、ある種の緊張感のある国もありますが、シンガポールに関しては、その心配は全然ないようです。我々の今までの経済的発展は日本の支えによるものが大きいと考

えておりますので、日本の進出を期待しております。政府間、個別企業ともにシンガポールへの投資を奨励しました。シンガポールに貿易社会をつくること、それに続く産業を盛んにすることに力を入れました。そして最近では人手のかかる産業ではなくて、高い技術の要求される産業、資本集中の企業、輸出業に関して日本の投資家と協力して、政府も民間企業も、うまくやっています。経済を発展させるために我が国の技術水準をあげることが今後の課題であり、そのため日本政府や民間企業がシンガポールの労働者の質をあげるための技術訓練の導入を盛んに行っています。ただ大きな問題があります。これはアジアの他の国々の意見ですが、日本への輸出に多くの問題があるようです。原料類の輸出には問題がないのですが、種々の製造品の輸出に関して問題があるようです。我々としては今後、両国間における投資一合弁会社の設立、もちろん一〇〇パーセント投資による大きくて特殊な技術を要する企業の進出も結構ですが、中・小のレベルでの、純粋にお互いの利益を考える合弁会社の設立も望ましいと思います。

シンガポールですが、技術や高度のテクノロジーを要求する企業、資本の集中するものなどを盛んにしていきたいのです。このために我々が第一にしなければならないのは我々の労働者の技術的訓練であり、また技術のみならず、その精神面一つまり勤勉さ、労働意欲、態度などを教育する必要があります。そのため日本が資金援助をしてくれば、それはシンガポールだけでなく日本の発展にもつながっていくと思います。いくら将来、投資をやろうとしても、それを受け入れる技術がなければ何もなりません。

日本はいい意味でのリーダーになる必要がある

ジャクソン 日本のビジネスマンはもう少し、国際性を持つべきでないかと思います。これは、とても大事なことだと思います。それに加えて大事なのは貿易制限を少

しゆるめることです。アジアの国では、そのことが大きな問題になつていて、特に農産物、または種々の製品の日本への輸出がむづかしいとの不満がある。もう一つですることは日本の教育制度をもつとアジアの人々のためを開放することです。今日、聞いた話によると、今まで日本の教育をうけたアジアの人々は同窓会の調査によつて数千人だそうです。それに較べてオーストラリアでは政府の費用で毎年三、〇〇〇人のアジアの学生をうけ入れています。今年は三、三〇〇人になります。日本でも、もつとこのような方面に力を入れるべきでしよう。

デービス 日本の文部省は大蔵省からもつとお金を入れています。日本は三、三〇〇人になります。日本でも、もつとこのように方面に力を入れるべきでしよう。

ジャクソン 外の世界から見ていると、日本の大学はともも閉鎖された印象を与えています。ほとんどの文化国家では大学はたえず変化しており、学生や教授の交換は日常茶飯事です。もちろん外國生同士もです。もつと自由にやることが、ひいては日本の教育、および発展のためになると思います。

デービス 過去において日本は、ある種の保護貿易主義をとつていて、戦争で打撃をうけたということ。その次は日本の経済は砂の上に築かれたようなもので、非常に不安定であると主張してきた。しかし、今や日本の経済が不安定で弱いという主張は、もう成りたたない。その日本の経済は弱いという主張が通らなくなつた時から日本は次に、"日本は違うんだ"ということを言い始めた。

社会的、文化的にも違い、いろいろと適合していくのに時間がほしい"と言っている。このことはO E C D の国々で不評をかかっている。

ジャクソン 日本の持つ日本觀とアジアの持つ日本觀はどうちがうようで、日本のまわりの世界は日本にある種のリーダーシップを期待しているが、多くの日本人は、まだその時期ではないと思つてゐる。世界の期待には日本はまだ応えていないようです。

デービス 私はジャーナリストとして一五年間、日本がリーダシップを取るべきだと書き続けて来た。アジアの中で日本は北に位置しており、南北問題のかけ橋として重要な役割をはたすことができる。市場の発達した国々、つまりアメリカ、オーストラリア、ニュージーランドのグループの一国でもある。つまり東西の中間に位置している。いろいろな意味でユニークな十字路にある。このようにユニークな位置にある日本が少しづつ独自の性格を出していくことは喜ばしいと思う。

ジャクソン 日本は日本人が考える以上に強力なのです。そして世界はその強力さにあうだけの責任を日本がとるように期待しているのです。

デービス 気をつけなければならないのは、日本の強力さに期待しているということに誤解がないようにすることです。日本ができるのは、このユニークな地理的、経済的条件を生かして、東西・南北のかけ橋として、役に立つ力を發揮することなのです。

ジャクソン 交換プログラムとして近年注目されているのに、このようなものがあります。二五才以下の青年であれば、だれでも大使館に行つて簡単な手続きで済むのですが、六ヶ月間、オーストラリアで働くプログラムです。大変評判がよく、もう何百人という人々がやっています。このようなプログラムこそ、将来、お互いの理解を深めるうえで有望であると思います。

デービス 今、外人が短期間でも日本で働くことは非常にむずかしい。もし、今いったようなプログラムをアジアの人々にも可能にするならば、そして、その仕事によってちゃんと生活できるだけの保障をすれば、一番の民間同士の理解になるでしょう。

ジャクソン このプログラムが発足した時、"仕事がうまくいかせるか" "法律にふれないか"などの心配がなされたが、特に神戸はオーストラリアと一〇〇年前に交易を始めた関係でうまくいっているようです。

デービス もし神戸がその伝統をもう一度見直して、独

自の立場で若い人々がオーストラリアかアメリカへ行けると同じように、この土地へ若い人々を呼び、勉強できるように出来れば素晴らしい。それができれば神戸が東京、京都、長崎などの他都市を啓発することができるでしょう。

神戸はコンベンションシティとしての可能性がある

サニタノント ほとんど神戸の町を見る機会がなかったのですが、それでも、今まで観察した点では、深く感心するところがありました。技術的に、人間の力によって、無から未来都市を創造したことは感銘をうけました。

国際会議場は素晴らしい施設だと思いますが、会議室が少しせまいと思います。大きなコンベンション(会議)を行う場合には、少し不便になるでしょう。例えば京都の国際会議場や東京の経団連ホールのような大きさがあればと思います。

シップ 過去の経験からいえば大きな国際会議、例えばロータリーとかライオンズクラブの場合、三、四〇〇〇人の泊まれる施設が必要になります。

ミン 神戸とシンガポールは本当に兄弟港のような関係であると思います。神戸は日本でのコンテナ港として最大ですし、シンガポールは東南アジアで最大の港です。シンガポールでも、海岸地帯に埋め立てをやつております。我々の埋め立ては小さな島から大きな島をつくるものです。このポートアイランドには非常に感心しました。つまり、なにもない状態から島を創り出したということです。まさに技術の集大成だと思います。

ダウ 神戸は一番古い、国際港として国外とビジネス関係を持って来ていますし、国際会議を開くのは、ごく自然な土地であると思います。ビジネスも盛んですし、交通の便もよいようです。ホテルなどいろいろな施設も整っているので、コンベンションシティとしても、すでに成功していると思います。

ミン シンガポールでは、観光促進理事会があり、その

中にコンベンションを促進する部があります。その部がシンガポールへのコンベンションを誘致するわけです。

ですからこの理事会のメンバーは、ビジネスマン、医者、技師などの会合を積極的にシンガポールに呼ぶ努力をしているわけです。

タウ それに加えて民間業者の中にコンペ恩シヨンのための種々の準備をする会社が増えています。政府は、コンペ恩シヨンを奨励できても、それには限度があり、このような会社が良いコンペ恩シヨンを行うために活躍しているのです。

ミン シンガポールも最近、国際空港（チャンギ国際空港）をつくっており、第一の滑走路は本土に出来、また海に人工島をつくることによって第二の滑走路をつくっています。ですから神戸も同様に埋め立てによって海上に空港をつくることができるかもしれません。

ダウ 国際空港について一言。世界の大都市には、ほとんど国際空港があります。日本でも東京にありますが非常に遠く、不便ですから、日本人、観光客、ビジネスマンたちは、二つの国際空港をもつことを望んでいます。もし神戸に国際空港があれば、こちらに来る方が東京よりも興味が持てそうです。

オマルタニ 何もないところから都市をつくったのだから
ら素晴らしいと思う。ポートビア'81のおかげで、神戸市
も国際会議ができるようになったので、成功したケース
と言えます。港や空港が近いことも大事です。それと同
時に神戸市としての独自のアイデンティティが必要で
しょう。伝統の上に立った新しい都市として、オリジナ
リティを打ち出すことがとても必要でしょう。

このコンベンションホールは、とてもよいのですがコ
ーヒーショップ一つないのはこまります。ポートビアホ
テルまで、いつも歩いていかなければなりません。それ
に神戸の市民にも使える施設にすべきでしよう。

デービス 神戸はとても香港に似ています。人口の多いこと、山と海にはまれていてこと、香港も現在、この

ポートアイランの島の上に成りたつています。このように島でなくして、そのまま山をつぶして土地を広くしました。九竜港に面した丘は昔九つの丘があつたのですが、今は、もう一つ半しか残っていません。埋め立てに使つたのです。国際港を持ち、土地のせまい神戸は、ほんとうに香港に似ています。

ジャクソン 神戸は港や重工業や船舶業としてのイメージがありました、もちろん、ファンション都市としても成功すると思います。

戸は鉄鋼関係の低下で苦しんでいます。今、過去の伝統の上に、国際都市としての経験を生かして、ファクションやコンベンションシティとして、発展しようと計画されているのでしょう。もちろん成功されると思います。次のステップは国際空港ですね。

現在ある種々のイクスチエンジのプログラム、例えば、姉妹都市提携のような考え方の方は良い方法だと思います。数日前、東京のテレビでみたブログラムに東京の子供達（小学校）を、数週間インドネシアで生活させるというのがありました。このような青少年や学生の交換プログラムは、とてもよいと思います。しかし、今度のボートピア'81で、神戸は国際的にもよく知られ、またこのコンベンションも素晴らしい試みであり、人々を、この神戸に集め、お互いの理解を深めるのに役に立つたと思います。シシップ姉妹都市は市長やロータリーなどを通してでしるでしょう。貿易のため使節を送つたりするのは商工會議所を通せば可能です。今まで福岡、名古屋、東京などから多くの人が訪れています。

ホマルダニ インドネシアと日本とは政府間でも商工会議所を通してでも民間レベルでも、一〇年以上にわたって会議、セミナーなど非常に活発な交流がおこなわれています。今後もそれが一層活発に続けられるであろうことを期待します。

（ボートアイランドにて）

田崎真珠株

取締役社長 田崎俊作
神戸市中央区旗塚通 6-3-10
TEL (078) 231-3321

オールスタイル株

取締役社長 川上 勉
神戸市中央区伊藤町121
TEL (078) 321-2111

カネボウベルエイシー株

取締役社長 稲岡必三
神戸市中央区三宮町1丁目9-1-807
センター・プラザ東館 8F
TEL (078) 392-2101

株ベニヤ

取締役社長 松谷富士男
神戸市中央区三宮町1丁目10-1
TEL (078) 332-3155

モロゾフ株

取締役社長 葛野友太郎
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号
TEL (078) 851-1594



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の
企画は以上5社の提供によるものです。

●月刊神戸っ子20周年記念出版

ALPHABET AVENUE



新井 満

〈文〉



石阪春生

〈コラージュ〉



二人の邂逅が火花を散らす

KOBEの摩訶不思議な幻想空間

〈アルファベットアベニュー〉

26色の道標。

●愛蔵本

26.3cm(ヨコ)×25.7cm(タテ)型

〈60頁ダブルトーン・コラージュ25枚入〉

¥ 5,000 (送料¥300)

協力 / 月刊神戸っ子 編集人 / 小泉美喜子

発行人 / 小泉康夫

発行所 / コミュニティサービス株式会社

神戸市中央区東町113の1 大神ビル7F

☎(078) 331-2246 月刊神戸っ子内